

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ソニリッサ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		令和 8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 41名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		令和 8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの「やってみたい」「楽しい」という気持ちを大切に、主体的に活動へ参加できる環境づくりを行っています。	子どもの興味や関心、得意なことに着目しながら、遊びや活動を通して自然に「やってみたい」という気持ちが生まれるような関わりを大切にしています。また、成功体験を積み重ねることによって自信につながる支援を心がけています。	子どもの興味関心を丁寧に捉えながら活動内容を工夫し、主体的に取り組む経験をさらに増やすことで、意欲や自己肯定感の育ちにつなげていきます。
2	子どもの発達段階や特性を踏まえ、一人ひとりに合わせた支援を大切にしています。	個々の発達状況や特性を把握し、環境設定や関わり方を工夫しながら、その子に合った支援方法を職員間で共有し支援にあたっています。	子どもの変化や成長を丁寧に捉えながら支援内容を見直し、より一人ひとりに寄り添った支援の充実を図っていきます。
3	畑や公園などの自然環境を活かし、屋外での活動を通して子どもたちがのびのびと身体を動かしながら過ごせる環境が整っています。	畑での野菜づくりや公園での遊びなど、自然に触れる活動を日常的に取り入れながら、子どもたちが五感を使って様々な体験を積み重ねられるよう支援しています。	屋外活動を継続しながら、自然体験や身体を使った遊びを取り入れた活動内容をさらに充実させ、子どもたちの意欲や主体性、身体づくりにつながる支援を進めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼稚園の行事や活動との兼ね合いにより、利用予定日に欠席となることがあり、利用機会が減ってしまう場合があります。	午前中の利用時間帯が中心となっているため、園行事や活動時間と重なることがあり、利用調整が難しい場合があります。	今後は午後の利用枠の開所を予定しており、園行事や生活リズムに合わせて利用しやすい環境を整えることで、より安定した利用につながるよう体制の充実を図っていきます。
2			
3			